

CSR報告書 2018



絆

原点を大切に、そして未来へ

新東工業は、1934年の創業以来、「ものづくりの心を大切に、社会に貢献したい」という思いのもと、世界に通用する技術を追求める歴史を歩んできました。

社会の潮流をとらえ、社会に求められる技術を通じ、皆さまの暮らしを支える新東工業の精神は、現在にも受け継がれています。

これからも、新東工業の原点である培われた技術と信頼を大切にするとともに、未来に向けて挑戦し続けていきます。

新中期経営計画 “CONNECTING TO THE FUTURE”



新東工業グループでは、2018年4月から2021年3月までの3カ年にわたる中期経営計画“CONNECTING TO THE FUTURE”を策定いたしました。

この計画では、「新しい事業価値の提案」「新技術へのチャレンジ」「お客さまに選ばれ続ける」という3つの方向性を掲げています。

企業広告 「花にも優しいモノづくり」



1963年当時の企業広告

まだ、公害という言葉がなかった1963年、当社は、環境問題への警鐘を、「花にも優しいモノづくり」の言葉に込めて、広告を掲載しました。これが、当社の環境に対する考え方の原点となっています。

1963

1934

2018 新分野への挑戦



介護職員を支援する見守りロボット

人手不足や過重労働が深刻な介護業界において、介護職員を支援する見守りロボットの開発について、豊橋技術科学大学と共同で取り組んでいます。

介護施設の中を自動巡回し、徘徊者や倒れた高齢者を発見したり、車いす移動者を誘導するロボットです。

介護サービスの質を向上させ、高齢者の生きる力を引き出す見守りロボットの実用化に向けて、開発を進めています。



医薬品品質管理用の無菌試験用アイソレーター

医薬品の製造時に使用されるアイソレーターという高性能な無菌クリーンルームで、国内トップの技術と実績を持つ株式会社エアレックスがグループ会社の一つです。

今後、拡大が見込まれる医薬品・再生医療分野において、国内外の無菌製剤アイソレーターやクリーンルームなどの市場へ積極的に展開してまいります。



3Dセラム社の最先端セラミック成型技術を使って制作した指輪

フランスにあるセラミックス3Dプリンターのメーカー3Dセラム社に資本参加しています(連結子会社)。

当社グループのセラミックス事業は、国内メーカー向けの液晶・有機ELや半導体関連の大型セラミックス部品が多く、さらに事業を拡大していくために、当社の持つセラミックス成形技術や国内外の顧客・拠点ネットワークと3Dセラム社の装置・ペースト製造に関するノウハウや最新の知見を融合させることで、3Dセラミックス事業で世界のトップランナーを目指します。

日本の工業化の推進に寄与



C-11 型 生型造型機

2017年8月、日本機械学会から、当社の「C-11型 生型造型機」が「機械遺産」に認定されました。機械遺産は歴史に残る機械技術を大切に保存し、文化的遺産として次世代に伝えることを目的に、国内の機械技術面で歴史的意義のある「機械」を認定する制度です。

C-11型は、国産初の砂型造型機であり、日本の鋳物工場の機械化は本機により始まりました。本機の出現により飛躍的に生産能率が向上し、鋳造工程の機械化、近代化への礎となりました。そして、鋳型の製造工程が機械化されたことで、大量の鋳造部品を必要とする機械工業の発展を支えました。これらの歴史的意義が認められ、認定されたものです。

トップメッセージ



取締役社長
永井 淳

昨今、持続的な成長を支える活動として、ESG（E：環境、S：社会、G：企業統治）への取り組みが注目されています。私たちは、ESGが注目される以前から、これらの活動に取り組んでまいりました。

例えば、まだ「公害」という言葉さえなかった1963年、当社は、「花にも優しいモノづくり」という言葉に環境保護への思いを込めた企業広告を出しました。

また、地域に根ざした企業を目指し、日本のみならず世界各地にあるそれぞれの拠点のお客さまや地域の皆さまから信頼いただけるよう、絆を大切にしています。

そして、誠実な経営を真摯に、愚直に進めてまいりました。

2018年4月には、新たな中期経営計画「CONNECTING TO THE FUTURE」をスタートいたしました。この計画には、「私たちが見据えるのは、過去でも現在でもなく、未来。明日の笑顔のために、共に頑張ろう」という思いを込めました。

現在、さまざまな変化が猛烈なスピードでおきており、従来の延長線上に未来はないという危機感をもっております。変えてはいけない当社の原点を大切にしながら、生き残っていくために、未来に向け、臆することなく、新たな分野へも果敢にチャレンジしていかなければならないと考えております。

私たちは今も、そしてこれからも、お客さまやお取引先さま、地域社会、株主・投資家の皆さま、社員など、すべてのステークホルダーの皆さまとの絆を大切にするとともに、ESGに積極的に取り組むことで、信頼され続ける企業を目指します。

そして、長年当社で培われた技術と信頼をもとに、新たな未来を切り拓き、企業価値の向上に挑戦し続けます。

経営理念「HEART」

Human Enrichment & Achievement through Reliable Technology

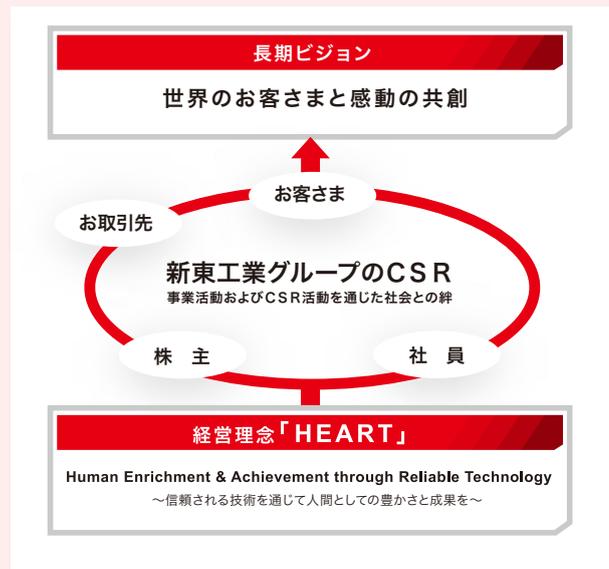
「信頼される技術を通じて人間としての豊かさと成果を」

私たち新東工業はものづくりの心を大切に、社会に貢献したいという思いから、創業間もない頃より世界に通用する技術を追求する歴史を歩んできました。その技術を通じ、お客さまとの信頼関係を築き上げ、共に発展していきたいという思いを表現したものが経営理念である「HEART」です。これからも私たちは、技術を進化させることによりお客さまに、社会に貢献し続け、皆さまとの絆を深めてまいります。

新東工業グループのCSR



“Sinto Beliefs”



新東工業グループのCSR

新東工業グループは、「HEART」を経営理念として掲げ、ものづくりの新たな価値を創造し、世界のお客さまとともに成果と喜びを分かち合うことを新東工業の使命とし、「技術の差別化」と「信頼のサポート」により関係するすべての人との絆を深め、新しい提案、新しい解決策を提供し続けることでSintoブランドを高めることを目指します。そして、この思いを表した“Sinto Beliefs”を制定し、浸透をはかっています。

こうした基本方針のもと、新東工業グループはCSRを「企業の成長を通じた、社会の持続的な発展への貢献」ととらえ、社会との絆を深めるための活動であると考えています。ステークホルダーの皆さまから信頼され、そして、さらに期待していただけるよう、すべての事業活動を通じて、長期ビジョンである「世界のお客さまと感動の共創」の実現を目指し、企業としての社会的責任をこれからも果たしていきます。

日本経済団体連合会「企業行動憲章」の実践

日本経済団体連合会では、民主導による豊かで活力ある社会を実現するためには、企業が高い倫理観と責任感をもって行動することが必要との観点から、「企業行動憲章」を定めており、新東工業グループでも「企業行動憲章」に沿った活動を展開しています。

環境とともに

～低炭素社会の構築に、ものづくりと商品で貢献する～



新東工業グループの全員が 「エコ意識」をもって、活動をはじめています。

当社創立100周年に向けて「環境経営」の方針を策定いたしました。

低炭素社会の実現を目指して、CO₂の排出量を削減するために、

「エコプロダクツ・サービス」「エコファクトリー」「エコロジスティクス」の

3つの活動に取り組んでいます。

これらの活動を推進するために最も大切なことは、

身近でできることからひとつずつ、着実に取り組んでいく社員一人ひとりの「エコ意識」です。

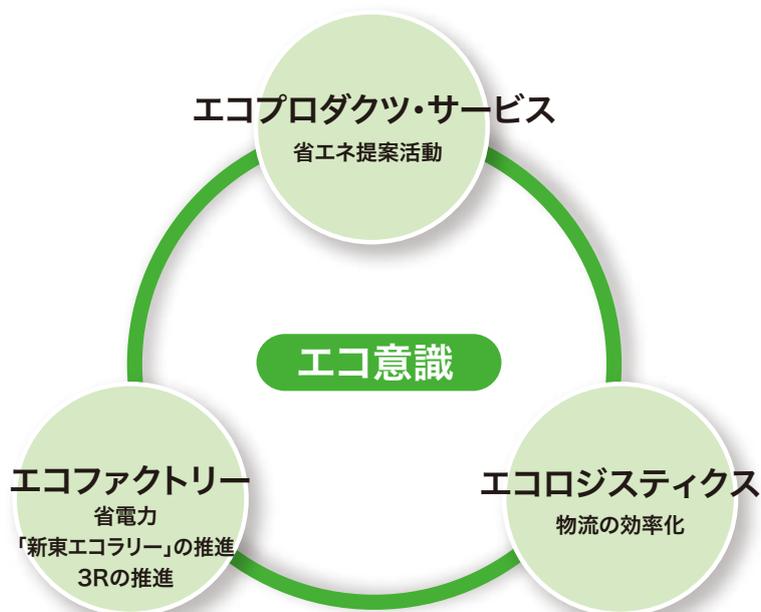
全世界の社員一人ひとりが心をひとつに、ものづくりや商品開発、販売といった

それぞれの持ち場でこれまで以上に積極的に活動し、

「環境経営」に新東工業グループをあげて取り組んでまいります。

そして、“子供たちの輝く未来のために”、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

「環境経営」の進め方

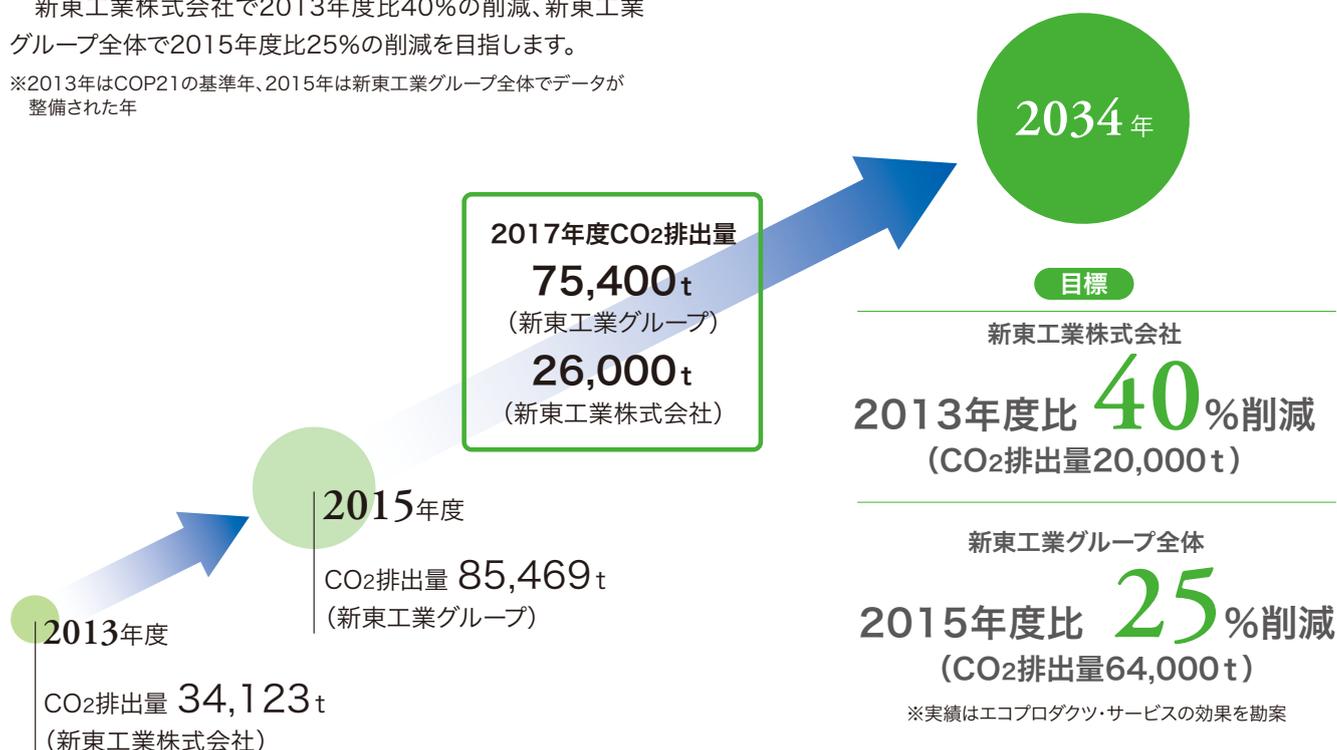


創業100周年に向けたCO₂削減計画を策定

当社の創業100周年にあたる2034年までのCO₂排出量の削減目標値を設定しました。

新東工業株式会社で2013年度比40%の削減、新東工業グループ全体で2015年度比25%の削減を目指します。

※2013年はCOP21の基準年、2015年は新東工業グループ全体でデータが整備された年



エコプロダクツ・サービス

環境に配慮した商品・サービスを提案して、
お客さまのものづくりにおけるCO₂排出量の削減に貢献していきます。

使用エネルギーを徹底的に削減する鑄造工場のご提案



「SINTO SMART FOUNDRY™」とは“鑄物不良をつくらない”“エネルギー消費最適化”を目指す取り組みで、「より良い鑄物づくり」の実現につながっていきます。

安全、安心、高品質、ニアネットシェイプ化、高生産性、省エネ、省人化といった幅広い切り口でのご提案や、特に鑄物づくりに重要な「6つの加工点」(砂処理・造型・中子・注湯・冷却/搬送・後処理)を中心に、徹底した見える化による工程管理を行い、品質の安定を実現し、“競争力のある鑄造工場”へのご提案と開発を推進しています。

消費電力の大幅な削減に貢献する商品

傾動式金型鑄造機 GDCX

金型の傾動や揺動に必要なアクチュエーターを大幅に削減し、設備重量を軽量化しました。油圧ユニットの制御を最適化することで、消費電力を従来機に比べ80%削減するとともに、安定した滑らかな注湯動作を実現することで、鑄物不良率低減に貢献しています。

日本鑄造工学会から安全、省エネに配慮した設備として評価され、2017年5月に開催された平成29年度の表彰式で「豊田賞」を受賞しました。



傾動式金型鑄造機 GDCX

サーボシリンダ

当社独自の荷重検出機構を採用し、業界最小サイズ・最軽量クラスを実現。油圧シリンダと比較して、高精度な荷重制御による品質向上や不良低減はもちろんのこと、消費電力・CO₂排出量を年間70%削減、騒音(dB)を20%低減、メンテナンス費用を年間67%削減など省エネ・作業環境改善・トータルコストダウンに貢献しています。

※上記の各数値はお客さま実績値。

電力料金16円/kWh、CO₂発生量0.481kg・CO₂/kWhで算出。



サーボシリンダ CYAP-CA

サーボシリンダ販売台数

2016年度

800台

2017年度

1,200台

エコファクトリー

2017年度に当社全事業所で電力量の見える化・細分化を行いました。
収集した電力データをもとに社員一人ひとりが工夫して省エネ活動に取り組んでいます。

「新東エコラリー」の実施



「新東エコラリー」ポスター

全事業所において電力量の見える化をはかり、前年同月実績と比較した削減率を競っています。エリアごとに施策内容を掲げ、使用電力量削減に取り組みました。各取り組みは、エコ活動事例として社内に展開し、啓蒙をはかっています。

エコキャップ運動の推進



ペットボトルのキャップ回収

「世界の子どもにワクチンを」活動に賛同し、ペットボトルのキャップ回収に取り組んでいます。

2008年からスタートした当社のエコキャップ運動は、2017年度末までに累計2,138,800個(ワクチン2,546人分)を回収し、寄付しました。

廃パレットの選別



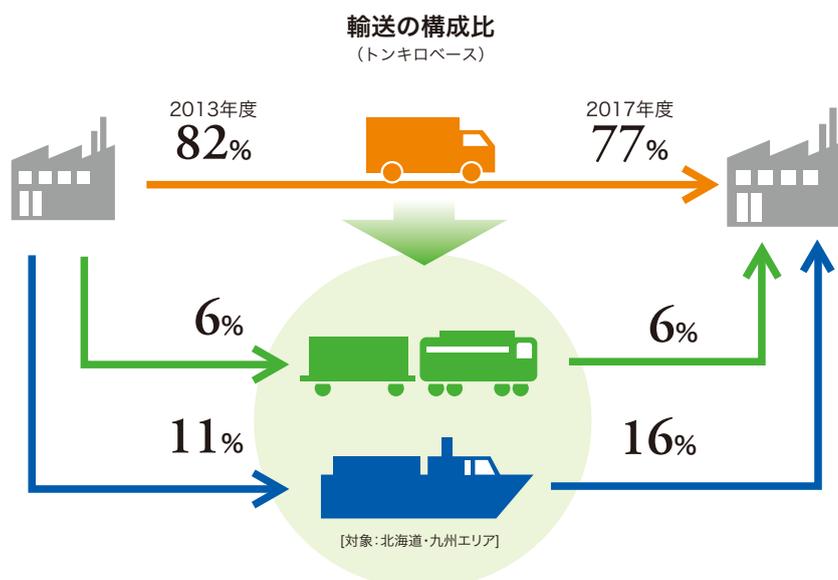
廃パレットの選別を実施

ベテラン社員の経験とノウハウにより、廃パレットを選別しリユースしています。

毎月10tトラック1台分を廃棄していたパレットを、2ヶ月に1回の頻度に削減することができました。

エコロジスティクス

投射材の輸送をトラックよりも環境への負荷が少ない鉄道や船に転換し、CO₂の排出量を削減しています。



エコシップ・モーダルシフト 優良事業者を受賞

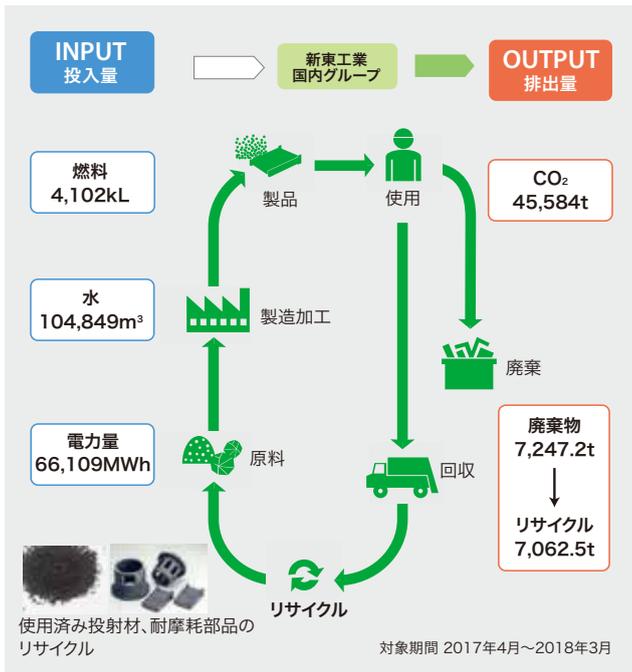
海上輸送利用により地球環境への負荷を軽減したことが評価され、「エコシップマーク」の認定を受けるとともに、2017年7月に国土交通省海事局長より「平成28年度エコシップ・モーダルシフト優良事業者」として表彰を受けました。



エコシップ・モーダルシフト事業実行委員会による表彰式

●事業活動における全体像

新東工業グループでは、国内全事業所で、事業活動に用いるエネルギーや資源のインプット(投入量)とアウトプット(排出量)を把握することで、ムダなエネルギーの使用がないかを確認する指標とし、削減に努めています。



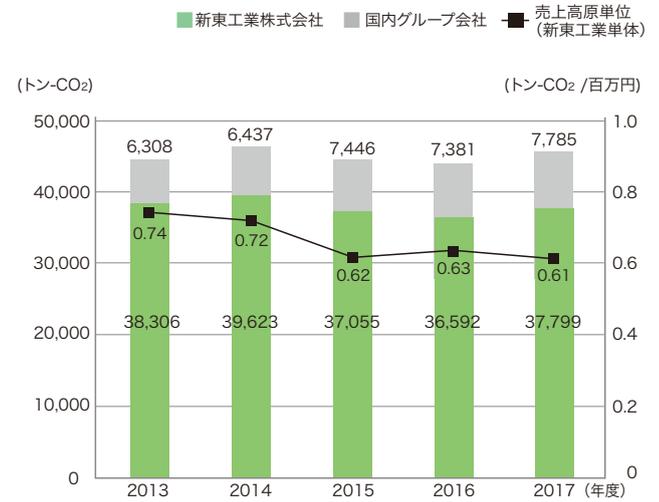
●環境コスト

集計範囲：新東工業株式会社
対象期間：2017年4月～2018年3月 (単位:千円)

分類	金額
環境損失	0
維持コスト	29,800
環境投資	906
合計	30,706

※環境省「環境会計ガイドライン」に準拠し算出しています。

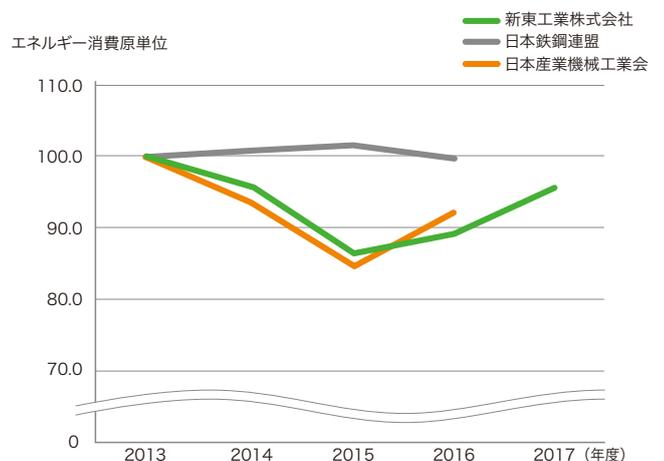
●新東工業・国内グループ会社CO2排出量の推移



●2017年度グループセグメントCO2排出量



●当社と日本鉄鋼連盟と日本産業機械工業会の比較



※2017年度の日本鉄鋼連盟と日本産業機械工業会の実績は未公開

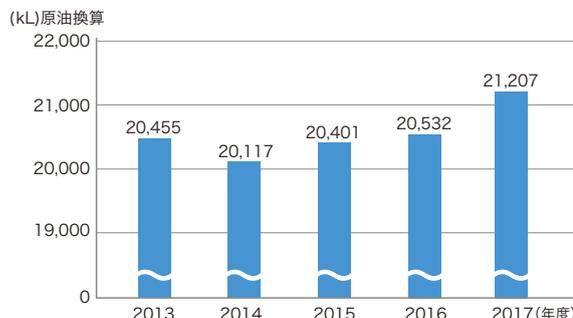


環境に関するデータの推移

INPUT

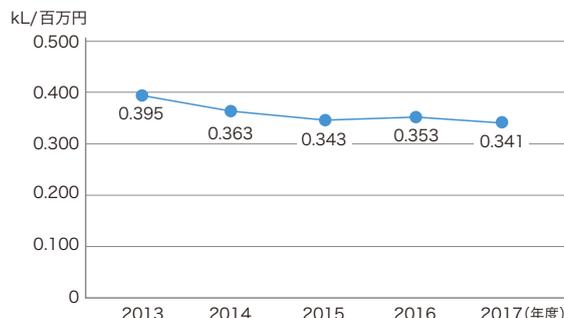
[対象範囲] 新東工業株式会社および国内グループ会社

●生産・オフィスに関わるエネルギー使用量の推移

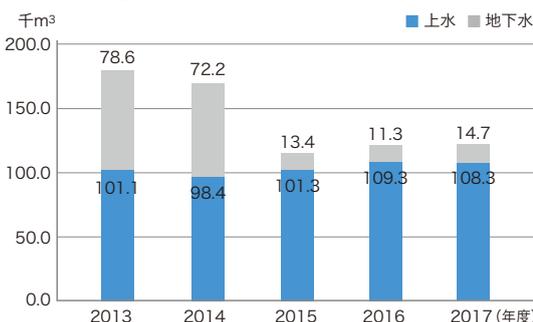


2016年度に電力量の見える化を実現。施策に対する効果が見えるようになりました。
環境推進会メンバーによる啓蒙活動や定期的なパトロールを進めています。

●生産・オフィスに関わるエネルギー使用原単位の推移

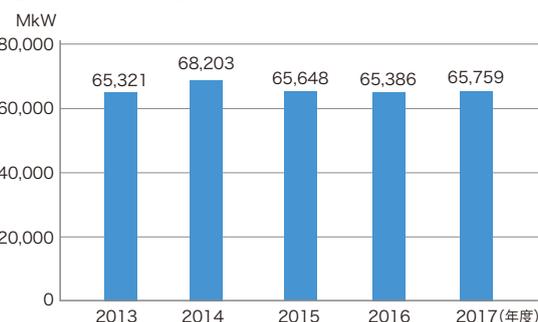


●給水量の推移



配管経路を見直し大幅な削減が実現した後は、
各箇所啓蒙を進めムダの削減に努めています。

●電力使用量の推移

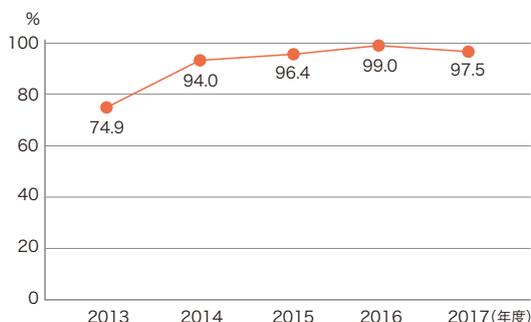


電力量の見える化を実現。社員の工夫に対する効果が見えるようになりました。

OUTPUT

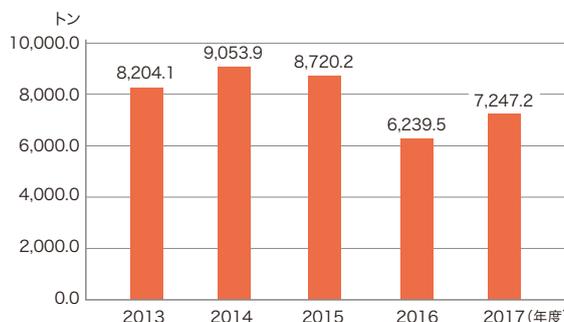
[対象範囲] 新東工業株式会社および国内グループ会社

●廃棄物全体のリサイクル率の推移

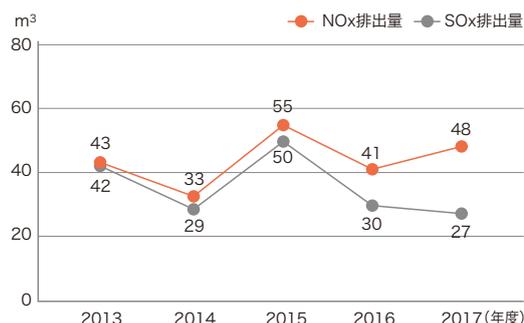


廃棄物の分別を順守すべく、環境推進会メンバーによる啓蒙活動や定期的なパトロールを進めています。

●廃棄物排出量の推移



●NOxおよびSOx排出量(豊川製作所)



対象設備の日常点検、異常時の訓練などに取り組み、排出抑制に努めています。

●エコキャップ回収数の推移



専用のボックスを設けるなど、分別に対する意識向上に努めています。

社会とともに

～すべてのステークホルダーに寄り添う～



インドネシアから教員の インターンシップを受け入れ

当社は、2017年4月にインドネシアの高等工業専門学校ポルマン・バンドンと、教員のインターンシップ受け入れに関する覚書を締結しました。同校は、1976年にバンドン工科大学を母体に設立され、現在は、鋳造、機械、機械設計、自動化の4学部を有する伝統校です。

2017年から3年間、毎年2名の研修生を受け入れていきます。第1期生となる2名を2017年5月に2週間受け入れ、



研修を受けるポルマン・バンドン校の教員

鋳造の関連技術について研修を行いました。

ミシガン工科大学大学院から学生の インターンシップを受け入れ

当社は、2017年6月、アメリカのミシガン工科大学大学院と人材交流を目的に、インターンシップ制度を開始しました。同大学とは、共同プロジェクトを行っている関係から、受け入れることとなりました。

第1期生として2017年6月から8月までの2ヶ月間、大学院生2名を受け入れました。



ミシガン工科大学大学院からの研修生

青島市と友好交流協議書を締結

当社は、2017年9月に青島新東機械有限公司がある青島市と「第2期青島市政府訪日短期研修制度に関する友好交流協議書」を締結しました。

この研修制度の第1期は2010年6月から開始し、5年を1期とし、青島市政府から合計10名の幹部候補生が当社に派遣されています。当社の対応が評価され、このたび第2期を開始することとなりました。



中国・青島市との友好交流協議書の調印式

“新東いものキャンパス®”を各地で開催

私たちの暮らしの中で多くの鋳物製品が活用されていることを伝えるとともに、ものづくりの楽しさを体感してもらうことを目的に、毎年さまざまなイベントで鋳物づくりの体験ができる「新東いものキャンパス®」を開催しています。



鋳造の工程について学ぶ子供たち

地元の高校生に手書き製図を指導

新東エンジニアリング株式会社は、愛知県の工業高校の生徒を対象とした地域ものづくりスキルアップ講座「クラフトマンⅢ」を行いました。これは、愛知県教育委員会からの依頼に基づく活動で、より実践的な技術・技能を習得することを目標として、今後の地域産業界を担う意欲をもった生徒を育成する取り組みです。

2017年7月から1週間、地元の高校生3名を受け入れ、手書きでの機械製図の作成指導等を行いました。手書き製図とは、紙面に筆記具と定規等を使用して作成する図面のことで、CADでの図面作成が主流の現在であっても、ものづくりの現場では手書きでも作図できることが重要スキルとなります。



手書き製図の指導を受ける高校生

お客さま

お客さまに安心をお届けするために

当社は、「お客さまの設備を止めない」ことへの取り組みとして、予防保全や事後保全によるサポートシステムを提案しています。より良いものづくりをお手伝いするため、IoTを活用した日々の管理や監視システムにて設備の安定稼働をサポートし、お客さまの“お困りごと”を解決する「SINTO SUPPORT SYSTEM™」を提案しています。設備をより安全に、より安心してお使いいただくため全力で取り組んでいます。

※「SINTO SUPPORT SYSTEM™」は当社のお客さまサポートの総称です。

QRコードを活用したデジタル点検のイメージ

お客さま A工場



お客さま B工場



点検結果

点検結果



(お客さま) 保全担当者

契約数

2016年度 1,123社 ▶ 2017年度 1,922社

安全な製品の提供

当社は、「安全はすべてに優先」の考えに基づき、すべての製品に対して設計段階からリスクアセスメントを実施して安全な製品の提供に努めています。

また、製品安全設計の公的資格である「セーフティアセッサ」の資格を持った、社内講師による製品安全の社内研修を実施しています。



セーフティサブアセッサ研修

資格取得者数

2016年度 101名 ▶ 2017年度 111名

サプライヤー

お取引先へCSR活動を展開

当社は多くのお取引先のご協力を得ながら、調達を行っております。情報交換会を開催して公平・公正な取引、法令順守はもとより「安全・品質・環境」の考え方の普及と理解に努めています。

2017年度の具体的な活動は、「安全セミナー」を実施し、初期消火体験を行ったほか、品質標語を募集し、品質について考えていただく機会を設けました。

その他、CO₂排出量削減の取り組みとして、ライトダウン活動、クールビズ運動に参加いただきました。



お取引先の会「新睦会」での情報交換会

社員

「健康経営」の推進

当社は、人材こそ企業にとっての最大の財産であり、その成長と活躍が企業全体の発展につながると考えています。このような「活人主義」の考えのもと、人間性を尊重し、社員が心身ともに健康で、一人ひとりが輝きある人材として自身の役割を最大限に発揮できる会社を目指しています。そして、社員がより働きやすい職場環境づくりのため、健康保持・増進、ワークライフバランスの実現に向けたさまざまな施策を展開し、健康経営の推進に取り組んでいます。

2年連続受賞



2018
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

身体の健康についての勉強会

社員自身が健康について改めて考える機会として、各地域の保健センターなどに依頼して講師を招き、自身の生活習慣の改善に役立ててもらうため、各事業所で身体の健康についての勉強会を実施しています。



身体の健康についての勉強会

勉強会 参加者数

2016年度 257名 ▶ 2017年度 351名

ヘルシーメニューの提供

社員の生活習慣病予防の支援施策の一つとして、各事業所で低カロリーメニューを提供しています。評判も良く売りが切れる事業所もあります。また、低カロリーメニューの推奨ポスターを作成して啓発活動も行っています。



ヘルシーメニュー

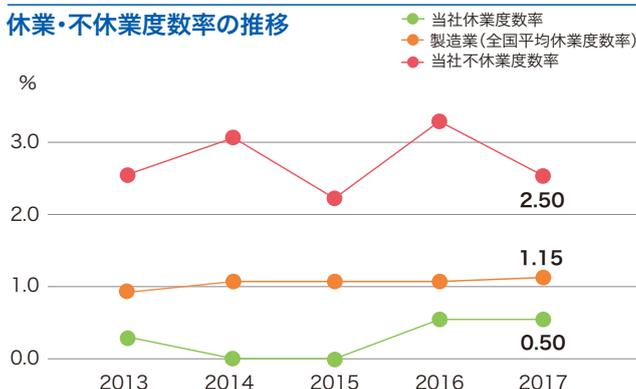
ヘルシーメニュー 喫食数(月平均)

2016年度 494食/月 ▶ 2017年度 1,408食/月

労働安全のために「人づくり」を強化

当社では、「OSHMS(労働安全衛生マネジメントシステム)」を全国7事業所にて認証取得しています。その結果、自主的に安全活動ができる職場環境が定着しています。また、技能安全研修センターでの体感を通じての危険予知能力の向上や、安全衛生管理に関する教育の場を多く設け、次世代を担う人材育成にも力を入れています。今後もPDCAサイクルを回し、さらなるスパイラルアップを目指し、労働災害ゼロを目指します。

休業・不休業度数率の推移



コーポレート・ガバナンス

～グローバルベースでのガバナンス体制の向上～

グローバルで、信頼の経営を

経営の透明性を高め、経営環境の変化に柔軟かつ迅速に対応できる組織体制を整備するとともに、グループ全体でコンプライアンス体制を構築することが必要と考えております。

海外グループ会社を含むすべての社員に向け「Sinto Beliefs」を制定し、企業倫理行動指針、安全方針、環境方針および品質方針を共有しています。

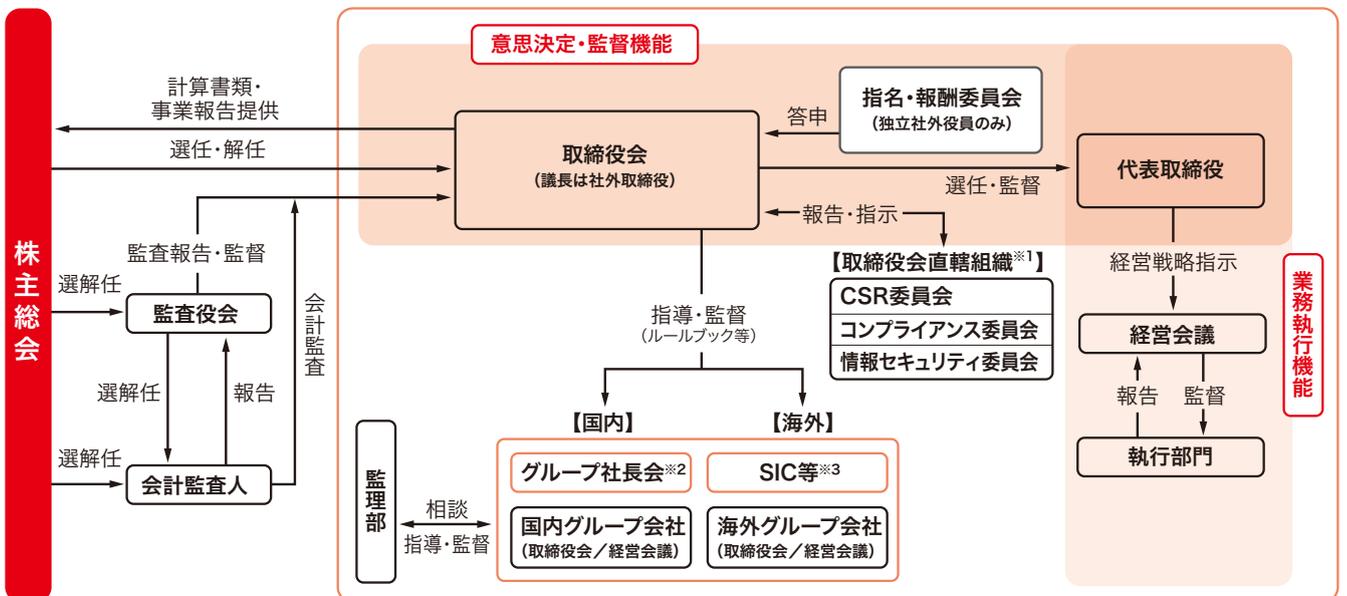
特に海外グループ会社とは、各社のトップが参加する「SINTO INTERNATIONAL CONFERENCE」を開催し、グループ経営方針の周知徹底をはかるとともに、リスクマネジメントの状況やCSR活動等について確認を行っています。

加えて、業績の向上に努め、資本市場をはじめとするステークホルダーの皆さまへの自発的、積極的な情報開示を行うことにより、信頼に足り、期待にお応えできるよう企業の社会的責任を果たしてまいります。



「SINTO INTERNATIONAL CONFERENCE」

コーポレート・ガバナンス体制



※1 取締役を主要メンバーとし、CSRに関する課題の抽出、対応方針の策定、実施状況のフォローなどを行う。
 ※2 主要な国内グループ会社のトップが一堂に会し、法令順守の状況、各種ルールの改正、国内グループ会社に適用される「ルールブック」の更新、CSR関連の重点項目やその実施状況の確認を行う。開催頻度は年4回。
 ※3 Sinto International Conferenceの略。主要な海外グループ会社のトップが一堂に会し、事業運営上の課題を議論・検討するほか、海外グループ会社に適用される「ルールブック」の更新、各種リスクへの対応やCSR活動の状況等を確認する。開催頻度は年1～2回。



取締役会

当社の取締役会は11名で構成されております。このうち、3名は社外取締役で、いずれもが、ものづくりに関して幅広い知識を持ち合わせているのはもちろん、会社経営に関する豊富な経験と高い見識を有しており、当社取締役会における意思決定や経営の監督に的確な助言を行い、取締役会の実効性向上に大いに貢献しています。3名の取締役会出席率は96%に達しています。

なお、2017年6月からは、社外取締役のひとりが取締役会長として取締役会の議長を務めており、取締役会の経営監督機能はさらに高まっています。

社外取締役の出席率
※臨時取締役会を除く



指名・報酬委員会

当社では、取締役・監査役候補の選任と報酬制度の検討等を行うために、任意の組織として「指名・報酬委員会」を設置しています。同委員会のメンバーは、社外取締役3名、社外監査役2名の計5名で、社内関係者はおりません。

2017年度に開催された2度の委員会においては、独立性・客観性の高い審議が行われ、取締役の執行・経営監督の状況の評価が行われたほか、取締役が適切にリスクテイクを行ううえで必要な中期インセンティブ(株式報酬制度)等に関する方針を定め、取締役会に答申いたしました。

指名・報酬委員会メンバーの社外役員比率



内部統制

当社では、「内部統制システムに関する基本方針」を定め、新東工業グループ全体の業務の適正性を確保するための体制を整備しています。

2018年3月には、CSR活動の推進母体であった「CSR委員会」から、コンプライアンス・ガバナンスに関するテーマのみを手掛ける組織として「コンプライアンス委員会」(委員長は代表取締役、委員は取締役全員)を分離・独立させ、取り組みの深化を進めています。

また、金融商品取引法に基づく、「内部統制報告制度」により、内部統制の整備や運用が適切に実施されているかを、監査部門が定期的に監査し、その後、監査法人の評価を得て、金融庁へ事業年度ごとに内部統制報告書を提出しています。

適切な情報開示とIR活動

当社は国内外の投資家の皆さまとのインベスター・リレーションズ(IR)を重視し、企業経営と事業活動に関する情報の当社IRサイトへの掲載や、半期決算ごとのアナリスト・機関投資家向けの説明会の実施等を通じ、迅速かつ正確な情報開示に努めています。

また、株主・投資家の皆さまだけでなく、広く情報を開示するため、当社ホームページなどを通じて、企業経営や事業活動についての情報を積極的に開示しています。

2017年度は、東京・名古屋・大阪で開催されました個人投資家向け投資フェアに参加し、ご来場されたお客さまにFace to Faceで当社の魅力をアピールしたほか、新たな試みとして、証券各社の7つの支店において会社説明会を開催し、約200名の個人投資家の方とコミュニケーションをとらせていただきました。

また、12月には、2016年度に引き続き株主アンケートを実施したところ、前年の約7倍に当たる3,224名の株主さまから回答をお寄せいただき、貴重なご意見・ご要望をお聞かせいただくこともできました。今後のIR活動に生かしてまいります。



名証IRエキスポ

情報セキュリティ

新東工業グループでは、情報セキュリティに関するリスクを経営リスクの一つとしてとらえ、情報セキュリティに関する基本方針として「情報セキュリティポリシー」を2007年に策定し、守るべき情報資産、守るための基本方針および対策基準を整備しています。

あわせて、新たに情報セキュリティ委員会を設置し、情報の機密性を高めるため、情報の特性と重要性に応じた取扱ルールを整備する活動などを行っています。

また、当社で設計・制作している製品・設備の図面は、専用の図面管理システムで管理しており、設計業務に従事している者だけが閲覧できるシステムとして権限を管理しており、情報流出の可能性を最小限に抑えています。そしてシステム利用の記録をとり、万が一非常事態が発生しても被害を最小限に抑える仕組みを構築しています。また、自然災害や機器障害発生時には、迅速に復旧できる体制を構築し、事業が継続できるよう努めています。

事業継続計画(BCP)

近年、大規模な自然災害が多発し、新東工業では緊急事態に遭遇した時に、従業員とその家族、地域社会や取引先に対して何ができるかを考え、また、お客さまへの供給責任を果たすため、消耗品を備蓄して供給に備えるとともに、事業継続計画(BCP)を策定し、防災・減災に向けた活動に継続して取り組んでいます。また、社員一人ひとりが初期消火や救命救護のスキルを習得するべく、講習会および訓練をくりかえし実施しています。

2017年度は9月1日「防災の日」に、全事業所の自衛消防隊選抜メンバー(70名)による初期消火、応急手当、救命救護の競技大会を開催しました。

将来、起こりうるであろう大規模地震や、予期せぬ自然災害に備え、ボーイスカウトで用いられる合言葉「備えよ常に!」で表現される危機意識を全従業員で共有すべく、今後も継続して開催していきます。



復旧本部立ち上げ訓練



自衛消防隊選抜メンバーによる競技大会

防災訓練の実施回数

2016年度

2回

2017年度

3回

2018年度 ESGに関する主要な取り組みと目標

主要な取り組みと目標

CO₂の排出量 前年度比 1%削減

売上高原単位の低減（新東工業単体）

環境に配慮した商品の販売によるCO₂の削減量 13,000 t /年

“新東いものキャンパス®”の開催回数 10回

健康経営優良法人 3年連続受賞

社員のメタボ該当者 10%削減



個人株主数 2,000人増

個人投資家向け会社説明会の開催数 10回

社内コンプライアンス意識調査の回収率 80%

会社概要

商号 新東工業株式会社

本社 名古屋市中村区名駅三丁目28番12号

設立 1934年(昭和9年)10月2日

代表者 取締役社長 永井 淳

資本金 57億52百万円（2018年3月31日現在）

従業員数 単体：1,649人
連結：4,010人（2018年3月31日現在）子会社
関連会社 61社（海外含む）

事業概要と主要製品

● 鋳造事業

鋳造プラント、生型造型設備、生型砂処理設備、自硬性設備、Vプロセス設備、アルミ鋳造関連設備、中子造型機、注湯機・溶湯搬送設備

● 表面処理事業

ショットプラスト装置、エアブラスト装置、ショットピーニング装置、投射材、バレル研磨機、ブラシ研磨機、メディア・コンパウンド、耐摩耗部品

● 環境事業

集塵装置、排ガス処理装置、廃水処理装置、プラストラック

● 特機事業

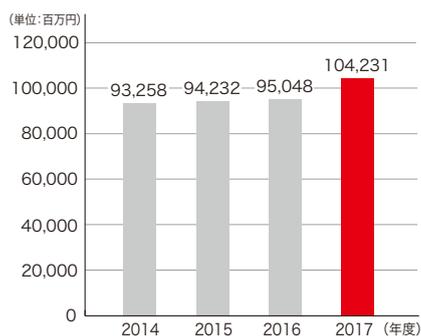
サーボシリンダ装置、サーボプレス、電気特性検査装置、自動車部品検査装置、混合・分散システム、座標測定機、寸法測定機、混練機、空気輸送装置

● 搬送事業

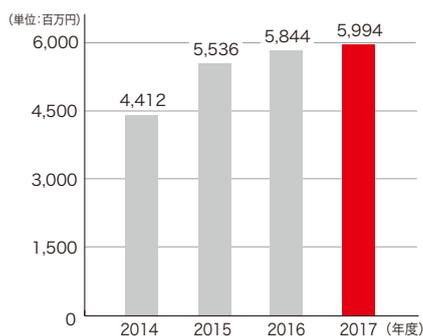
シザーリフト、コンベアシステム、クリーンシステム

連結業績の推移

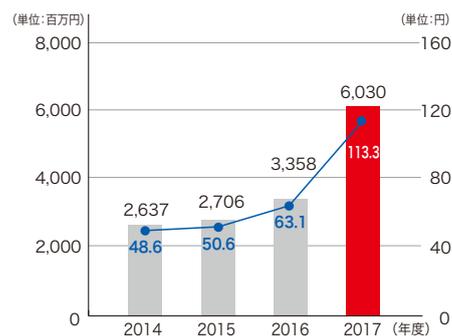
● 売上高



● 経常利益



● 当期純利益 / 1株当たり当期純利益



ブランドスローガン

New Harmony >> New Solutions™

「New Harmony >> New Solutions™」は、新東工業グループの意志であるブランドコンセプトの「技術の差別化」・「信頼のサポート」をグローバルに宣言するブランドスローガンです。

新東工業グループはステークホルダーとの絆を深め、より強い信頼関係を築くことを目指しています。そのために「技術力」と「お客さまをサポートする力」を結び、絶えず進化させ、常に新しいソリューションとベネフィットを提供し続けます。そして幅広い技術の融合により、新しいソリューションと価値を創造します。

こうした企業活動により社会および環境との調和に貢献していきます。



CSR報告書2018

- 報告期間 2017年4月1日～2018年3月31日
- 報告対象範囲 新東工業グループの全活動
※部分的に新東工業株式会社(本文中では「当社」と表記)に限定している場合もあります。
- 発行日 2018年6月22日
※前回2017年6月発行、次回2019年6月発行予定
- お問合せ先 コーポレート部

新東工業株式会社

〒450-6424 名古屋市中村区名駅三丁目28番12号
Tel 052 582 9211 Fax 052 586 2279
www.sinto.co.jp



「Company Song」
新東工業グループ共通の思いを表現し、
企業理念の浸透をはかっています。



この報告書は、再生紙を使用しています。インキは植物油系溶剤を使用することで、VOC(揮発性有機化合物)成分を1%以下に抑えています。